

会議録

会議の名称	令和5年度第7回西東京市地域福祉策定・普及推進委員会
開催日時	令和6年1月24日(水) 19時00分～20時30分
開催場所	田無第二庁舎4階会議室 2・3
出席者	熊田委員(委員長) 島崎委員 坂根委員 山崎委員 篠宮委員 佐藤委員 小口委員 中岡委員 南委員
欠席者	伊藤委員(副委員長)、新野委員、米本委員
議題	(1)前回議事録について (2)パブリックコメントでのご意見と回答案について (3)次期地域福祉計画最終案について (4)その他
会議資料の名称	次第 ○前回議事録 ○資料1 パブリックコメントでのご意見と回答案 ○資料2 次期地域福祉計画最終案
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

■開会

傍聴希望者 なし。

事務局から、配付資料の確認。

■議題(1)前回議事録について

事務局から説明。

【主な意見】

○委員

- 基本目標5<これまでの成果>のところ。避難行動要支援者名簿と災害時要援護者登録名簿の共有に関して、今年1月17日付で市役所危機管理課と西東京消防署との間で正式に協定を結び、情報提供をいただくことになったので、訂正して欲しい。
- 基本目標2<これまでの成果>のところ。全4圏域に地域協力ネットワークが設立されたという記述に、「既存の西部地域、南部地域に加え」と追加した方がいい。
- 専門的な用語で説明が必要なものとして、レスパイト支援、アクセシビリティ、インクルーシ

ブ、マイノリティがある。分かりやすい日本語で補足なりをするといい。

○委員長

- 市民が計画を読んだ時の分かりやすさは基本であり、大事にしたい。

●事務局

- 大変ありがたいご意見を頂いた。所管課と協議の上、適切な文書等を追記したい。

■議題(2)パブリックコメントでのご意見と回答案について

事務局から、資料1【パブリックコメントでのご意見と回答案】を説明。

【主な意見】

○委員長

- 意見を受けて変更する箇所はどこか。また、意見7の回答は他の計画を踏まえた回答をしており好感が持てるが、他の計画に書かれている内容もあると納得感が高まる。

○委員

- 意見11の回答の「関係部署同士が連携する体制」は、関係部署を例示するといい。

●事務局

- 意見3のヤングケアラーに対する意見を踏まえて、文章を追記した。また、前回の委員会でも意見をいただいた「福祉丸ごと相談窓口」の説明は1ページを割いて記載した。パブリックコメントの意見と回答は、市ホームページでは全文、市報では紙面の関係で抜粋して公表する。意見11への指摘を含めて、回答を再度見直す。

○委員長

- 公表に向けて、更に丁寧な回答を心掛けて欲しい。今後の精査もするというので、この資料を委員会として了承することでよいか。

○委員

- (全員 了承)

■議題(3)次期地域福祉計画最終案について

事務局から、資料2【次期地域福祉計画最終案】を説明。

【主な意見】

○委員

- 「用語の説明」は後ろの資料編に掲載する案でいいと思うが、その場合、目次の下の「◎計画書をお読みいただく際の留意点」に「用語の説明」を掲載していることを追記してはどうか。

○委員

- P8のSDGsゴールはサイズを大きくして欲しい。

○委員

- 社協計画で施策毎にSDGsゴールを記載しているが、達成評価に難しさも感じている。計画を進行管理する際には、SDGsを踏まえて計画全体を評価する方法等も検討した方が良いのでは。

○委員

- 「用語の説明」に掲載する用語には「*(アスタリスク)」等の印が小さくてもあると分かりやすい。

○委員

- 文中に、カタカナ(日本語)であったり、日本語(カタカナ)であったり、書き方が混在している箇所がある。

○委員長

- 文中のカタカナ(説明)の書き方は統一性を持たせる形で再度精査して欲しい。「用語の説明」は後ろの資料編に掲載する案を委員会として了承することでよいか。

○委員

- (全員 了承)

●事務局

- 「用語の説明」に関しては、ご意見も踏まえて、文章が読みづらくならず、かつ、分かりやすいような方法を検討する。

○委員

- 日常生活圏域の説明は欲しい。

○委員

- P48 の「地域の縁側プロジェクト等の地域づくり」は、一所懸命頑張って取り組んでいるので、「はじまっている」から「進んでいる」に変更して欲しい。

○委員

- P21 の「福祉丸ごと相談窓口」の設置場所を追記するといいい。

○委員

- P15 の下線部分は、強調していることがもう少し伝わる表記にするといいい。

●事務局

- ご意見を踏まえて精査する。

○委員

- 学校に協力していただいたアンケートの結果を、子ども向けにフィードバックできるといいい。

○委員長

- 子ども向けの報告等を考えてもいいい。

●事務局

- 市政として、子ども参画は重視している。アンケート結果は市ホームページで既に公表しているが、計画が決定した後に「皆さんの意見はこういうことに生かした」ということを何らかの形で報告することを検討する。

○委員

- P79 評価指標の「防災市民組織の数」を増やすことはとても重要である。初期消火活動では消火栓の使用が非常に有効であり、それを使用できる防災市民組織は防災力の強化に欠かせない。自治会数と同じぐらいを増やすことが望まれる。

○委員

- 評価指標の「自治会・町内会等の加入世帯数」だが、なぜ加入が少ないのか。若い人が入らないのはメリットがないからである。また、自治会の加入率は減っていると思ったが、P44 で「自治会の加入世帯数は増加しています」という表記があるので、確認しておきたい。

○委員

- 民生委員の目標はどうか。定数は今後も変わらないと思う。

○委員

- 評価指標の目標値に、その根拠や理由の説明があるといい。

○委員長

- 評価指標の目標値について専門家からアドバイスをいただけるといい。また、この計画が上手くいけば、つながりが強化され、それを担える団体が増えるというストーリーになっていく。地域の中でつながりが低下してきていることは間違いないので、どうつながりを強くしていくか、関係性を良好にしていくかは、まさにこの計画の狙うところである。そういう視点で目標や評価も考えていく必要がある。

●事務局

- 民生委員の目標は定数の充足に向けたものになる。評価指標の目標値は今後検討する。また、自治会員について、やはりすごく意識が希薄化しているのはご指摘のとおりである。そのため、現在も所管課で努力している成果として、認知度が上がり、増加していると思うが、所管課に確認して、誤解のない、分かりやすい表記を検討する。

○委員長

- 本日のご意見を踏まえて修正をしていくことを含めて、計画最終案を委員会として了承することによいか。

○委員

- (全員 了承)

■議題(4)その他

●事務局

- 先ず、委員の皆様へ感謝を申し上げたい。計画が完成した際は皆様に報告する。本委員会は計画の進捗報告等も予定している。令和6年5月の任期ではあるが、委員の皆様には、いろいろな形でご協力をいただきたい。

■閉会